

周南市庁舎建設検討市民委員会（第3回） 議事の概要

日時	平成24年10月1日（月） 18時～20時40分
会場	周南市役所本庁舎本館3階防災対策室
出席者	委員10名（石丸委員、岡寺委員、熊野委員、佐伯委員、齊藤委員、新本委員、原委員、村越委員、目山委員、矢守委員） 事務局7名（山下企画総務部長、西村総務課長、福本庁舎建設準備室長、杉岡室長補佐、有馬、貞長、吉村） 周南市庁舎建設基本計画策定業務受注者日建設計2名
欠席者	なし

1. 開会

2. 前回会議の議事の概要について

3. 議題

（1）庁舎整備の理念とあり方

（事務局説明）

委員：10頁（上位計画の最後の頁）の後に、庁舎整備の根拠として上位計画の中でうたわれていること（「新庁舎」や「集約」等の方針）を再整理・総括しては、整理の観点として「庁舎本体に関わること」と「地域の位置づけ」の2つがある。例えばバリアフリー基本構想に関して言えば、徳山駅周辺地区の指定によるこれまでの取り組みがあるので、その投資効果を下げない意味でもこの場所に庁舎があるのがよいという後者の説明ができると思う。一方緑の基本計画や環境基本計画については地域の位置づけとしては説明しづらいので、庁舎に求められるものとして前者につながる。もう少し噛み砕いて、ここにあるべき、建替えるべきという根拠を整理しては。

委員長：庁舎整備に関する上位計画の記載（根拠）を箇条書きにでも再整理すれば、市民が読んだ際の納得性が高まるというご意見である。

事務局：整理表を作ってみる。

委員長：こういう状況の中お金をかけてやるのか、という批判があった際にも（上位計画の位置づけが明確であれば）対応しやすい。

委員：2点。12頁の理念に「地球環境にやさしい環境配慮型庁舎」とあるが、旧徳山・旧新南陽には苛性ソーダをつくる産業があるが、それを生産する過程で日本全体の3分の1もの量の水素が副生されている。この水素を利用しての省エネを考えられないか。周南市ということのアピール、特色になると思う。

2点目。来年合併後10周年を迎えるが、合併には高齢化対応として役所業務の集約等による経費削減という目的もあった。旧徳山市・新南陽市・熊毛町・鹿野町の役所の従来業務は、現在トータルで管理する部門があるのか、それとも内部で職員が兼務しているのか。徳山市の職員の仕事が増え他は窓口対応だけになったのか。役所の内部はこの10年どういう動きがあったのか。建設部などはここではなく新南陽庁舎に入っているが場所がないから別なのか。

事務局：副生水素の一般供給は、経費、安全面、規制等の問題から難しい面がある。

総合支所については、段階を踏んで合併後徐々に各支所の人数を少なくすることとしている。定員適正化計画を立て現在までに 50 人ほど減っている。総合支所に行っても分からないという声がある状況は問題であるし、市民をしっかり支援するよう職員にも意識を持たせたい。答えになっているか分からないが。

委員：アンケートについて。近所に勧めてみたが、本当に要るのか、というリアクションだった。これまで返ってきている中で反応はどうか。

資料の内容についてはしっかりまとめられていると思うが、何が一番大事かがすっと入ってこない。防災的な観点から建替えしかならうというのは正しいと思うし、それをもっと強く出してもよいと思う。平等に整理しなくても、絶対にやるべきことなど差がある。家の耐震と考えると、耐震では必ずしも便利にはならない。安心安全は建替えるならもちろんのこと、もっと新庁舎に夢が広がることが書かれてあった方がよい。近所を見ていると若い人が少ない。これから中心になってくる 50～60 歳の人たちにとってより魅力的に見えるプレゼンがあると、新庁舎があった方がよいということになるかと。もっと訴求力がほしい。

委員長：後半の整備手法もみるとよりポイントは分かりやすくなるかと。

委員：ポリウム層は現在公民館などを使って活動している。つくるならいいといってもらえるものの方がよい。市民館のような機能を新庁舎に統合することを考えているか。

事務局：12 頁に「市民協働の～」と書いているが、発表や交流に使えるギャラリーなどを想定している。市民館についてはこれからの検討課題。市役所に行かない理由は、市役所にそのような機能がなかったからということも考えられる。集まれるようなスペースがつくれればと思う。

委員：別でマスタープランづくりに関わったが、きれいな本ができたなあという印象になったことがある。市が中心になってもっとおもしろそうな中身にしては、もう少し庁舎整備をなるほどと思えるように。

委員長：新潟にアオーレ長岡という施設が隈研吾氏の設計でできた。市役所と市民館などが天蓋空間でつながっている。市役所には 3D シアターなどもあり、平日の昼でも結構な来庁者がある。このように奇抜なものもあるが、お金を節約しながらいいものをつくるというのは大事。

委員：総合支所に売店を出している。土日は駐車場を開放し利用が増える。市民館でイベントがある際も増える。きれいなのでトイレだけの利用者もある。駐車場やレストラン等についても利用できるように考えて。

委員：理念で「きめ細やかなサービス」と説明があったが具体的になかなか思いつかない。「未来を守る」とある未来はどのような未来を考えているのか。読んで生活がどう変化するのかよく見えない。どういう風に変えたいのかイメージできるものが必要では。

確認だが、市民を積極的に集めるようにしたいということか。住民票やパスポート等のためにたまに来る人が楽しめるのか、積極的に集め楽しんでもらえるようにするのか。はっきりさせたい。

委員長：理念がこのままでいいかということ。アオーレでは美術館のような場や市民活動には無料で使える会議室などがある。市役所で市民サービスの展開ができるのかが課題。

委員：先ほどまとめ方にメリハリがないという意見があったが、自分は住宅を設計するが、日があたる家、風が通る家、借景の家など、強調したいことを名前に付ける。庁舎を建て替えると市も変わってくるというイメージを出せばいい。

近所に地震でつぶれてもプレハブでよいという主婦がいたが、それによる悪影響を挙げると反対の声も潜まった。市職員だけ耐震性の優れたものに入るなんて、という見方をされないよう、理念にはメリハリがあった方がよい。分かりやすい、説得しやすいものを強調しては。駅ビルの建替えと庁舎の建替えもつながるとよい。

委員：駅ビルに市役所機能をもっていってはどういう議論はないのか。

事務局：敷地面積が1,500㎡程度しかなく、駅広をつくる必要もある。ほかにも駐車場確保や回遊性の観点から駅に一極集中でいいかということを見ると難しい。

委員長：テーマ（理念）を決める必要がある。耐震改修で命を守るということは重要だが生活を変えるようなイメージの言葉。「未来を守る」と「安心安全」は同様の意味。例えば「未来を守る、楽しまれ集まれる庁舎」等としては。

委員：未来もだが今が大事。未来という言葉はポジティブだがどういう未来か、視点がそこに行く。

委員：絶対多数の人が望んでいることが落としどころか。高齢化社会を救ってくれる社会。どこがボリュームゾーンか見ておかないと賛同得られない。

委員：さみしいことに企業の撤退などで賑わいが減っている。明るいイメージを盛り込みたい。

委員：高齢化だけでなく少子化にも着目したい。市役所に行けば情報があり人脈の輪も広がる。おむつの交換などで妊婦も気軽に立ち寄れる、そんな市役所のイメージができるとうい。

委員長：「未来」ということばは外した方がいいかもしれない。

委員：輪が広がるというイメージはいい。市役所には今は用事がないと行くことはない。身近に行けることがないと結局行かない。授乳とかで遠慮なく立ち寄れるとか。子育て支援はできるといい。

委員長：今のような話はある程度「守る」という言葉で集約できる。

委員：テーマはこの2時間の議論で決まるようなものでいいのか。

委員長：今日意見をもらって次回再提示・議論ということでもよい。駅と美術館・文化会館等をつなぐ、無料で楽しめる憩いの拠点はここかと思う。人が集まれる、来やすい、先導役になるイメージ。

委員：できるだけシンプルな言葉がよい。建て替えるなら安心安全なものにするのは当然なので付加的なものを。

委員長：賑わい、楽しみ、輪が広がる。「周南市民を守り、輪が広がる」という方向性でいいか。

委員：子育て中のお母さんや高齢者が集まってどういう風に過ごすか、生活シーンがイメージできるとよい。メリハリだけの問題の気がするが。

委員：今のまとめ方は「周南」の部分了他都市に変えても通用する。港湾と鉄道駅が近いなど特異なことを活かしたイメージがあるとよい。「庁舎のあり方」の記載は当たり前のこと。それだけでいいのか。周南じゃないとできないことを入れていく必要がある。

委員：「未来を創る」はどうか。アクティブな、攻めの意を持たせる。

事務局：各々がよいと思うフレーズをメール等していただき、事務局で検討したい。

委員：日建設計はプロポ時どのような提案をしたのか。

受注者：プロポは業務の進め方等の提案が主。今回理念はたたき台としてこれまでのものを踏襲した。

事務局：市役所が変わっていくイメージも必要かと思う。言葉は変えてもよい。検討したい。

委員：日建設計のプロポ時資料を見ると市民ギャラリーの提案などもあるので、参考にしたらよいかと思う。

(2) 庁舎整備の手法

(事務局説明)

委員：全面建替えに仮設庁舎はいらないのか。

事務局：なくてもできるのでなしで試算している。

委員：3案の金額もほぼ変わらないのであれば、全面建替えで迷う余地はないのでは。

委員：15頁(規模算定基準)。極端な例だが部長や課長のスペースを削れないか。現在は職員810人の最大規模。低コストを追求していきこれ以上は削れないという面積を出せないか。

事務局：別途の執務環境の調査で必要面積が出るので整合を取りたい。

委員：実際事務室面積が7,000㎡強が要るとは限らないということと理解。

事務局：ただし防災や福利厚生、賑わいに関する空間分は考慮されていないので足していく必要がある。これは比較用の数値。

委員：起債条件では市民向けの説明にはならないと思ったが、今面積を詰めるのはナンセンスと分かった。すみません。

委員：起債基準を下回るとどういった影響があるのか。

事務局：特に影響ない。今は実施面積ベースとなり、この数値は目安でしかなくなった。

委員：17頁のランニングコスト。耐震リニューアルの場合、分散庁舎のコストも含まれているのか。

受注者：含まれている。

委員：解体費用はどう見ているのか。全面建替えの場合でも、分散庁舎をストックとして使う想定なら、維持管理コストはかかる。

事務局：一応すべて解体として想定。

委員：古い庁舎に愛着を持っている人の疑問にきちんと答えられる資料にしておく必要がある。改修したとしてもやがて建替えがいるとの整理だが、本当にその前提で正しいか。一般的なコンクリートの寿命を超えても解体せず耐震化の上増築して使い続けていく事例もみられる。後々不満が残ることのないよう、親切な説明がいる。

委員長：委員会としてC案を進めるということによいか。

委員：新築する場合県の総合庁舎同様に高層になるのか。御幸通、岐山通に対し高層にし

かなりえないということであれば賛成得られにくい。高層化せざるを得ないのは分かるがどのくらいの圧迫感になるのか知りたい。

事務局：今は 13 頁のようにしか示せないが、可能性としては南に足すようなこともできるかと。なるべく高層にならないようには考えている。10 階以下か。

委員：15 頁の表の「質の高いまちなみ景観」で、新築が になるかはまだわからない。現在通りに対しヒューマンスケールがあり、通りに対して落ち着きがあることが通りに対する最大のメリット。すべてに低層はムリでも、今の景観を踏襲できるか。踏襲するつもりなら言葉にして意思を表示しておいてほしい。ふたをあけてみたら嫌なものがあった、ではいけない。

委員：景観計画がある。

委員：拘束力はない。

委員：形態まで話をしだすと基本構想の範囲を出ていると思う。後半（基本計画）議論すべき。

委員：過去の他事例を参考に言えば最初が肝心。今の景観を継承するという文言がほしい。形態の評価が なのか なのかは今言っていない。

委員長：C 案でよいか。

委員：委員会で取りまとめてパブコメで信を問うということでのよいか。

委員：あまりにも C 案ありきで進めているようにも思える。金額も 3 案が似たり寄ったりという結果。誘導されているような気がする人もいるかもしれない。

委員：㎡あたりの単価を比較すると全面建て替えのコストパフォーマンスの高さを示せる。全面建て替えだと単価も安く広く使える。石丸委員のというようなまちなみに配慮すれば B という選択肢も出てくるかもしれない。

委員：B と言っているわけではないが、C 案にしていざ景観に配慮してつくとコストアップになるというなら、前提が今の比較と違ってくる。がコスト削減を徹底して市民に親しまれるものになるかは疑問。景観に配慮してつくってもこのコストで収まるのか。

委員：そのあたりの考え方は示しておく必要がある。50 年以上使い続ける市民の財産。安易に決めてはいけない。

委員長：挙手してみましよう。A～C 案。

（ 全員 C 案 ）

委員：この単価なら C 案。

委員：コストは次の段階の話。市民の憩いの場などをつくとコスト増につながるなど、お金のかけようは何をつくるかで変わってくる。今言えるのは、A 案ではそもそもそういう場をつくる余地はないということ、B 案なら可能性はある、C 案は可能。

委員：あり方の「質の高いまちなみ景観」という言葉では抽象的。

事務局：基本構想では抽象的な表現にならざるを得ない部分も、基本計画では具体的にしていこう。

委員：これからの庁舎は 50 年と言わず 100 年を目指さなくてはならない。子供たちが将来また負担することになるなら多少無理してでも今がんばるべき。

委員：50 年と 100 年、建築の単価はどのくらい違うのか。

受注者：躯体や設備はかなり質の高いものを用いる必要があるのでコストは上がるが、程度はどのような条件かにも因るので一概には言えない。100年建築と言ってもきちんとしたメンテナンスがあることは前提。

委員：ライフサイクルの表はメンテナンス費用が考慮されていないという意味では正しい表現ではない。不確定であるという意味で将来も点線にしておいた方がよい。

委員：現庁舎を残したい人へのフォローと、周南らしさを表現できればという条件付きでC案に賛成。

委員長：建替えの場合、歴史性にはなんらかの配慮をする必要がある。デジタルアーカイブ等の充実など。

4. その他

(1) 委員会だよりについて

事務局：周南市委員会だよりを毎回作成し、ホームページと紙で配布予定。案ができれば各委員に確認をお願いし、承諾を得て発行。

委員：ホームページは普段見ないし、配布場所にも行くか分からない。しっかり伝えていきたいなら、広報に挟む等それなりの努力をすべき。費用にもよるが。

委員：回覧板もある。

事務局：検討する。

5. 次回委員会日程

委員会の次回開催は、11月12日(月)18時からとする。